

図書館だより

今月の新刊を紹介します。

問 タルイピアセンター ☎23-3746 FAX 23-3745

開館時間：10:00～18:00

休館日：9/5(月)・12(月)・20(火)・26(月)・29(木)

身体が喜ぶ発酵調味料メソッド 調味料を変えるだけ!

(清水みのり、方丈社)



基本の調味料を本来の製法でつくった“本物の調味料”に切り替え、自家製発酵調味料を使った料理を食べるだけで身体はぐんと良くなる。本物の調味料の取り寄せ先や発酵調味料のつくり方、それらを使ったレシピを紹介します。

ドリトル先生ガラパゴスを救う

新ドリトル先生物語 DOCTOR DOLITTLE SAVES GALAPAGOS

(福岡伸一、朝日新聞出版)



本家「ドリトル先生」シリーズの世界観やキャラクターを土台に紡がれる、生物学者・福岡伸一によるオリジナルストーリー。冒険物語にして、少年スタビーズくんが自然や社会を知っていく成長物語です。

偉人メシ伝

「天才」は何を食べて「成功」したのか?

(真山知幸、笠間書院)



織田信長は「立ち食い」で奇襲に成功!? 葛飾北斎は1日たった2杯の蕎麦で絵を描き続けた!? ローマ皇帝は1日で食費が1億円!? 古今東西の偉人たちの奇妙キテレツな食生活を紹介します。

ねずみくんはカメラマン

(作：なかえよしを、絵：上野紀子、ポプラ社)



ねみちゃんの写真をとっていた、ねずみくん。すると、動物の仲間たちが「ぼくたちもとってよ」と次々やってきました。でも、うまく全員おさまらなくて…?

紹介文：TRC MARC

お知らせ

▶テーマ展示「空を見上げてみよう」「きょうりゅう ガオー!」

「読んでおきたい 認知症の本」「どんな病気?がん」「読んで健康!」

9/24(土) ぬいぐるみ おとまり会

▶読みたい本が図書館にないときは、リクエストサービスをご利用ください。

歴史探訪

垂井宿での流行病

幕末の垂井宿の出来事を記録した資料、『諸事商外記』には、次のような記録があります。

天保三年(一八三二)琉球使節が江戸の將軍へあいさつのため、道中の行き帰りに垂井宿へ泊まりました。この時期に、厳しい流行風邪のため十人が十人、百人が百人、風邪にかからなかったものはおらず、琉球人が訪れたことで流行した病として、皆が「琉球風邪」と呼んだと記されています。

この琉球使節の一行では、正使である豊見城王子朝春が、薩摩に到着後、病死したため、代人が豊見城王子を名乗って江戸まで参府したそうです。正使のほかにも、京都の伏見や尾張の稲葉宿などで病死した者が複数人出ています。人の交流が流行病を引き起こしたのでしょうか?



▲諸事商外記

『垂井町史』通史編・史料編

タルイピアセンター、役場会計窓口、文化会館で販売中 各4,000円